

「生田緑地マネジメント会議」の内容をお知らせします。

令和2年度 第2回運営会議が開催されました。

令和2年9月30日(水) 18:00~20:00 生田緑地東口ビジターセンターにて第2回運営会議が開催されました。

「ばら苑に関する提言書案」について活発な意見交換がなされました。



2020年9月30日の会議の様子

コロナ禍での開催でしたのでWeb会議を併用して行いました。会場は通常の口の字型レイアウトからのスクール形式へ変更し、会場の換気は30分に1回以上行いました。

第2回運営会議概要

◆承認事項

1. 令和2年度 生田緑地マネジメント会議 会員活動計画書 (第1回運営会議承認後の提出分)

◆協議事項

1. ばら苑に関する提言書案
2. 第1回運営会議においての意見と会則等

◆報告事項

1. 令和2年度生田緑地の工事
2. 公園灯LED化について(令和元年度よりの継続事項)
3. 向の岡工業高校との入口標識製作の協働作業について(長者穴口):おもてなしプロジェクト
4. 中央広場の簡易テントの利用報告:指定管理者
5. 民家園プロジェクトマップ:市観光プロモーション推進課
6. ばら苑アクセス路:みどりの保全整備課

◇共有事項

- ・秋のばら苑・カシノナガキクイムシ
- ・みどりの都市賞活動助成金について
- ・令和2年度 環境功労者表彰、「みどりの愛護」功労者 国土交通大臣表彰
- ・ばら苑案内について

※3原則・7ルール

区 域	7 ルール
自由な発言 自由な発言を最大限に尊重する	① 参加者の見解は、所属団体の公約見解としない ② 特定の個人や団体のつしあげは行わない
徹底した議論 互換な意見を求めず、徹底した議論から相互信頼の構築をつくる	③ 議論はフェアプレイの精神で行う ④ 議論を進めるにあたっては、実証的なデータを尊重する
合意の形成 きざみに基づく実行性あるプランづくりをめざす	⑤ 問題の所在を明確にした上で、合意形成をめざす ⑥ 現在係争中の問題は、客観的な立場で事例として扱う ⑦ プログラムづくりにあたっては、長期的に取り組むものと短期的に取り組むものを区分し、実現可能な提言をめざす

第2回運営会議開催報告

◇承認事項

第1回運営会議以降に提出がありました団体の承認。生田緑地での活動に際し、計画書は必須であるが、令和2年度のコロナ禍におきまして活動計画が立案しづらい環境であります。順次受付を行います。

◇協議事項

○ばら苑に関する提言書案 (ばら苑プロジェクトより) マネジメント会議から「市」に対して、ばら苑のことを考え取り組んでいただくようお願いする提言書を作成したい。3月の全体会の承認に向けて原案を作成中です。
○第1回運営会議の意見・会則など
現在は正会員は団体の会員のみであり、個人は準会員であるので、個人会員の位置づけも再考したい。
会議の進め方にも良いルールをつくりたい(左下記の表)などの、意見が上がった。

◇報告事項

・おもてなしプロジェクト「生田緑地の入口名称」は向の岡工業高校との協働し、長者穴口から名称看板の設置準備が進んでいます。
・民家園でのプロジェクトマップと、VRを組み合わせたイベント開催が予定されている。第3回の運営会議には具体的な内容がわかってくる。
・ばら苑へのアクセス路はばら苑が抱える課題である。独立した管理用道路の整備が必要なので検討する。保全・利用方針を決めるためのプロジェクト会議を開催することとなりました。

～生田緑地ビジョン基本理念(生田緑地のめざす将来像)～
豊かな自然・文化・人・まちが共に息づき
緑がつなげる持続可能な生田緑地の実現